

栄八通信

ハートコミュニケーション

第 12 号

14710 月末発行



武雄市議会議員
発行者 宮本栄八
武雄町野間 TEL・FAX23-0750
発行部数 11,200部

問 古庄新市長のもとで武雄市を発展させるにはどうすれば良いか？

答 市長に対して要望を具体的に提案すべし！

対話と公開の政治には、市民も責任が出てくる

これまでの感想

私は、はっきり言って、県議古庄氏に對し不満いっぱいだった。それは、個人的に不利益を受けたとか言うことなく、期待の裏返しとしての憎悪だったと思う。約十五年前の市議出馬の時は石井氏の協力でか、パングのキャラクターマークが受けたのか、それまでに無いような大量得票で当選され、一期で、石井氏のあとがまですんで、武雄町出身、商業者代表としての政治活動や地元商業者結集の取りまとめ役としての活躍の期待もあった。何かの総会などでは総論的な立派な話をされるが、その後のフォローや、これといった具体的な行動は無し。県議二期目ぐらには、「県議一期では小学生のようなもの、これから、ホップ、

新市長への対応

前述のように県議古庄氏には、批判的であったが、市長古庄氏には期待する部分もある。それは、人間に、タイプというか向き、不向きがあると思うからで、比較的に県議よりは市長向きで、現在の部長を頂点とした、部制を取る市役所には、意外とマッチする可能性もあると思うからである。

- ① 武雄市の方向性の明示
- ② 部長への適確な指示・監督
- ③ 最終決断と最終責任

力が発揮していく、井本知事とも同じ武高出身として大きなパイプがある。」などと、再度期待をさせていたのだが、やはり音沙汰はなかった。選挙の時は、結構、政策ブレンというか、選挙すぎの人が多く集まられて協力されているようにだが、選挙が終われば、あまり、それらの人と街づくり談議をされている所を見たこともないし、石井氏と議論されている所も見た事がない。最近、不満から諦めに変っていたが、選挙になると、「県議二人共、土建屋なら武雄は滅びる」とか「普段の活動は良く知らないが、やっぱり武雄町から一人は出さんといかん」とか口コミが広がって、すっかり当選されるのは、派閥か、何か人を引きつける所があるのか、何もしなないが当選しやすいのかだと思ふ。

一般質問で市長の

政治方針や政策を初めて聞く

私の、三月議会の一般質問は、「新市長の政治方針と政策」という題目で、まずは、古庄市長が何をどうやりたいのかを聞くことにした。議会前までの情報としては、選挙前の「武雄テレビ」での出馬表明のインタビュー「後援会関係のチラシ」「選挙広報」選挙後の、「テレビ取材」「新聞報道」の内容から質問した。

新市長積極財政の実体

H10年度の予算規模
前回と同じ140億円
の見込

将来の借金返済の為の
公債費比率15%で管理

市長は、「私の決意」というチラシの中で、「財政はもとより重要な、しかし、財政論議に終始して自らの視野を決めるより、前向きな議論をしましょう。必ず道はあります。」と述べてあり、積極財政という事業遂行優先と市民は受け取っていたが、実際のところ、平成十年の骨格予算が百八億円組まれていて、古庄市長が、これに投資的な、肉付け予算を次の六月議会で提出されるわけだが、昨年度の百四十億円に比べ、どの位の積極的が増すのかとの問いに、答えては、昨年度とほぼ同額を考えているとのこと。

市長の選挙公報

ふるしゅうけんすけ
古庄健介
59歳

新しい発想で

大胆な改革を実行し、

元氣な武雄市をつくりま

武雄市の将来を見つめ、今、何が必要かを皆様と共に考え、決断の市政、前向きな市政を進めます。
対話と公開であなたと共に武雄市を築いていきます。
元氣な産業を育て、豊かな武雄市をつくりまします。
多様な市民の意見を聞き、元氣な武雄市をつくりまします。
高齢化社会への取り組みやすい武雄市をつくりまします。
市民参加のまちづくりを進めます。
未来を担う子供達に誇りある武雄市をつくりまします。
市民参加のまちづくりを進めます。
元氣な武雄市をつくりまします。



色々のチラシが出されたが、あまり内容がなかった

まず、新しい発想で大胆な改革を実行し……と云うことは、石井市政を継承すると見られる中で石井市政のどこをどう大胆に改革するのか？については、情報公開や市民参加行政をさすと言う。

◇対話と公開 については、当選後の新聞報道にあったように、夜の市長室は仕事が終わってから、出前市長室は、各町公民館に市長がはかちで行くと言うもので、他議員の質問の答えでは、四・五月中に実施するとの約束で、これの実施が新市長の初評価になると思ふ。しかし、私がその後、企画情報課に行き、夜の市長室は誰が担当しているのかを聞いたが沈黙だった。少し心配している。

また、女性の行政参加も推めると言及されて、女性の審議員等も増員すると言うことで、新年度の審議員の変化を期待している。また、女性議会や子供議会も今年中にも行うとのことである。さらに女性グループとの会合も積極的にやりたいとの意向だった。

◇元氣な産業 については、農業・商業政策については、具体的な政策は現在もないと、あっさり、今後、専門家の意見を聞いて対応するとのこと。先端産業の誘致についても特にならぬ。新工業団地は予定しないが、企業誘致は進める。また、北部再開発に公園都市構想を導入するとの話も、あまり具体的な様子はない。

◇高齢化社会 については、市民病院問題については、古庄市長の独自の大転換の発言があった。それは、武雄市立でなく、周辺市町村と共同経営と言うことであり、石井市長は、平成十一年度から市民病院化でスタートするとの方針だったので「何を今ごろと云う」と言う人もいたが、いや、今までの議論が、あまりに市民病院一直

線で考えて来たかもしれないの
思いもあり、古庄市長に対する反
発は以外と少なかった。

しかし、周辺町村との話し合い
も今から進めなくてはならないし、
さらに今後、市民や各種団体とも
協議すると言うことで、国立病院
再編の日十二年のリミットの関係
をたずねた所、当初の日十一年市
民病院開業は遅れる可能性もある
が、日十二年の最終期限内には結
論を出すとのことだった。また、
病院に特別養護老人ホームを併設
したいとの考えも言われたが、県
は今一市に一ヶ所配備を進めてい
て、武雄にはしばらく、県が設置
を認めないのが常識なのだが、勉
強不足の発言か、または県へのパ
イプの強さで推進してより良い保
健福祉の実現をめざされているの
か、私には良くわからない。

また、医療・福祉・保健を統合
して、「健康福祉都市武雄」の実
現をうち出してあるが、鹿島市は
図書館と併設して、保健福祉セン
ターを作り、そこを拠点に連携を
はかるなど具体的だが、武雄はセ
ンター建設の予定もないし、具体
的イメージを問うたが、はっきり
した案はないようだ。

◇「子供達に夢」と言うことの中
でスポーツ施設を整備し、とあり、
チラシには、市民プールと具体的に
に書かれているが、特別の考えや
思いがあるのかの問いに、チラシ
は支援者が作ったので、自分とし
ては特にプールにこだわっていない。
以上が、古庄市長の選挙公約に
ついての答弁だったが、まったく
と言って良いほど、具体案をもっ
ておられず、また、多種大量に市
民に配布されたチラシの政策の具
体案も明確でなく、支援者が作成
して、本人が見ていない物もあっ
たと言う。しかし、本当に、情報
公開と話し合いの市政をやってい
ただけるなら、結論ありきよりも、
無い方が市民としては歓迎だ。

公開と対話の市政実現プログラム

古庄市長の存在意義（アイデン
ティティ）は、公開と話し合いの
市政運営ということが解った。
それならば、武雄の古庄市長が
就任してから、武雄は、変ったと
か、県内でも市民との公開対話は
進んでいると言われるぐらいやっ
てもらいたい。夜の市長室や出前
市長室も第一歩として評価するが、
武雄市自身も、平成7年度より、
行政改革のメニューとして、「住
民参加システムの確立」という項
目を立てて計画してあったが、3
年過ぎたのにはほとんど手が付けら
れていない。
左の図に示した内容があるが、
古庄市長は、すぐこれらの、遅れ
を取りもしてもらいたい。
また、先進地では、行政の透明
性確保の為に条例などの法規程を
している所も多く、市民の公文書
閲覧の権利を保障する、情報公開
条例。議員の資産公開や議員の家
族などが公共仕事を辞退する。ま
た、業者の斡旋をしないなどを定
める政治倫理条例、また、公務員
不祥事の防止の為に利害関係者か
ら、会食や賤別・贈答の授受など
を禁止する職員倫理規程、さらに、
産業廃棄物処分場や原発等の立地
の賛否を問う住民投票条例などあ
るが、伊万里市では、情報公開及
び政治倫理条例は制定済み。武雄
市も、これから大型事業をひかえ、
業者との接触も多くなるので、職
員倫理規程まで制定すべき。

対話と公開の政策メニュー

先進地での法規程	武雄市 行政改革(実施計画)
情報公開条例 〈会議の公開〉 〈第3セクター公開〉	CATV「市役所だより」 FAX情報サービス
政治倫理条例 (議員の資産公開、 受注辞退など)	市政モニター 市民懇談会
職員倫理規程 (接待、せん別の禁止など)	市民意識調査 (アンケートなど)
住民投票条例 (原発の立地問題など)	審議会等の見直し 〈女性委員の拡大選任〉 〈公募による委員〉 女性・子供議会の開催

効率的行政運営



効率的な行政運営の 為に実施すべきこと

市長は、初登庁の日に市職員を
集めての訓示で、コスト意識をもっ
て、効率的行政運営をする様にと
の号令を出されたと聞いた。
私も、同感であるわけだが、も
ちろん、経費の節減や、民間委託
や、退職者より新規採用を減して
の人員管理も必要であるのはまち
がいないと思うが、やはり、それ
にも限界がある。
今年度歳出の性質別の構成比に
よれば、最大の三〇億円は、人件
費であり、単純な話、現在より二
割ぐらい効率よく仕事をすれば、
三〇億円の二割で、見方によつて
は、六億円の収入増になる。
そこで、効率的に人が働ける為
に、今、何を、どう動けば良いか
を明確にし、管理職からも、部下
の動きが把握しやすくする必要が
ある。行革の実施計画の中には、
日八年度より、年間事業計画や月
間事業計画を作成して、事業実施
するようになっていくが、今だにや
られていない。そうなるのと、ど
の事業に何人で、何日やるかの人員
配置計画がたてられない。

今議会、古庄市長は、行革に関
して、唯一明確な具体案を示され
たのが、『人員の有効活用』の為
に、季節等の業務量の変化に応じて、
臨機応変に、職員を移動させる』
と言われた。その為にも、年間・
月間事業計画の早期作成が必要。
さらに、その前提として、年間
にすべき事業の内容を定めるには、
部制導入と同時に義務づけられた
市長の方針やマスタープランに基
づいて、部長が目標を定め、以下
室員（係長）まで順次具体的計画
を作るようになっていたが、昨年
度は途中でまだ、部長が担当課
の把握ができていない理由で作
成されなかったが、日十年度は、
絶対に作成して市民にも明示すべきだ。

合併処理浄化槽設置整備 補助金が突然削減された理由

今、予算は骨格で、新規事業が
わずかしか計上されてなかった関
係上、歳出に対する質疑は少なかつ
たが、私を含め3人が同時に手を
あげたのが、この合併浄化槽に対
する補助金の削減であった。
左の表のように削減された理由
を聞くと、合併浄化槽設置の価格
が下がったからとの答弁だった。
しかし、私は、昨年武雄市内で
急に値下がりした話を聞いたこと
もない。武雄市は、公共下水道は
余地のない市街地のみを行い、基
本的には合併浄化槽を中心として
水質浄化をはかるという、前石井
市長方針により、全国的には、合
併浄化槽は二次処理槽で20 PPM
以下だが、武雄市は、三次処理槽
10 PPM以下を推進し、その費用
の半分相当額十五万円も加えて補
助し、他市の公共下水道による水
質浄化に並ぼうと邁進していたの
で補助が急に下がることと設置率
が低くなるのではと心配した。
しかし、議場では、確かに、値
下がりしているとの答弁で、それ
ならやもうえないと予算案に賛成
したが、いまいち納得できず担当
課に行つて調べると、全国の自治
体の合併浄化槽の本体価格と工事
費を調査して、全国平均を取った
ら安くなっていたので国の補助金
も削減された様で、武雄市の価格
に直接関係ないデータによって
削減されていることがわかった。
具体的には、国・県・市が1/3づ
つ補助するわけだが他の市町村も
4月より補助金削減をしているよ
うだ。今後は、武雄地区での合併
浄化槽の設置費が全国平均額ぐら
いまで下がることを期待する。
議場では設置費用が安くなった
ことしか要因に上げられなかった
が、担当課で良く聞いてみると、
国が、これまで、単独浄化槽と合
併浄化槽の金額の差を基準に補助
して来たのを、まったく違う方式
で合併浄化槽の設置費用の四割しか
見ないと変更したため、同じ設置
補助と名称は同じでも、基準がま
たく違い比較検討がむずかしい。
ただ、市民側から見れば、設置希
望者の多かった八人槽以上は、約
四十五万円も補助が減る。
また、今回、二次処理槽と三次
処理槽の差額の半分の十五万円を
市単独補助していたのも、二次と
三次槽との金額差が縮まったとし
て一律十万円に同時に減らされ、
泣き面に蜂である。
また、今後の問題として、農業
集排水の利用者は、十五万円の
加入金しかないなど、方式によ
る市民負担の不等問題も考え
て行かねばならない。

人槽	設置数	設置費		補助金額 改正前	補助金額 改正後
		武雄市 3次槽 2次槽	国基準 2次槽		
5人槽	11基	110万円	90万円	+15万円 459,000円	+10万円 354,000円
		100万円			
6人槽	130基	120万円	100万円	+15万円 613,000円	+10万円 411,000円
		120万円			
8人槽 以上	320基	140万円	130万円	+15万円 974,000円	+10万円 519,000円
		130万円			

新コナ市の主要事業の現状を知る

高架区画整理

高架区画整理事業のその後を簡単に整理すると、昨年十一月に武雄市が、都市計画決定といつてその地区は、建築に制限を受ける範囲を決定し、実質的にスタートしました。昨年の十二月議会では、高架の総額が一〇億から、一四〇億に訂正され問題になりましたが、また今三月議会で、線路を上げる高架事業の工事期間が、七年間から、九年間に延び、それに伴って周辺整備をする区画整理事業も工期が十年間から十四年間に延び結局工事は完了は、平成二十二年に予定変更されました。

前記の一四〇億の件は、区画整理区域を狭めたため、高架単独の部分が増えたのを計上もれしていた。

○区画整理は、武雄市の事業
○関連事業は、県道は県・市道は市
今後の動きとしては、区画整理地区内の土地や家屋を調査し補償費等の計算などを
して、十一月ごろには、事業認可を受け計画。



家が解体してあるのは県の関連事業の分

東部開発

観光物産館より東側から武雄自動車学校付近までの70haを範囲としていたが、水害地区であることから、約半分の42ha、現在建替中の尿処理場付近までが現在の計画範囲になっている。

圃場整備も、優良農地である為、農水省の認可がないと開発できないが、最近の農業状況の変化で、すこし柔軟になって来ていて、行政としての開発意義づけができれば、農業以外の利用もできる。そこで、市は商業地としての開発を位置づけたが、高架区画北部再開発との整合性がないとして、石井前市長も、古庄新市長も商業地開発に慎重姿勢を明言されているが、企画の担当者の話を聞く所によれば、東部開発計画と同時に、進んだ、イズミとの相関性の整理や、今回の北部区画整理及び再開



整合性のある開発を

民の中には、再開発に慎重な格好だけし、高架区画が決定すれば、方針急変との心配も多い。

たらしい。

工事期間が延びた理由としては、県が、単年度支出を低く押える為に工期を長くしたらしい。ここで一つ説明すると、南北に四本の貫く道路も同時に整備されるが、これを関連事業と言っています。

○高架は、佐賀県の事業
○区画整理は、武雄市の事業
○関連事業は、県道は県・市道は市

今後の動きとしては、区画整理地区内の土地や家屋を調査し補償費等の計算などを
して、十一月ごろには、事業認可を受け計画。

柏岳開発

柏岳に約四億円をかけて、県が生活環境保全事業で整備することとは、何回も取り上げ、市の公園の意味あいもあり、使いがたが良く市民に親しまれるものであつてほしいとして、最低でも、女性ドライバーの離合のしやすい配慮を言つて来たわけである。

しかし、最近得た情報によると、離合どころか、車は下に置いて、歩いて登るように変更されているらしい。世界の花木園が目玉となっていたが、そう観光客にアピールするだけのボリュームも無い内容のようだ。やはり、事業が数年ぶりに、武雄の順番になったのだから、もっと四億円の内容にふさわ



別の所良かったか? しい公園にする為の十分な事前の方針や協議が必要だった。

田代酒造跡

市の中心街で、歴史的に外部に誇れるものは、温泉と長崎街道である。その長崎街道といつても現在まで残っているものは数えるしかない。この田代酒造跡は、新町の中村涼療旧宅前に位置し、特に家の前にもあり現存しない。所有者は、現在、大関酒造であり、旧宿場にもあまり現存しない。所老朽化して解体したいとの意向であり、好意でしばらくそのままだったが、武雄市が必要ならば、買って欲しいとの申し出であり、これ以上結論を伸ばすこともできず、平成九年の十二月に、月額五万円の賃貸料を払って、市が借りることになった。

しかし、賃貸契約も、平成十二年度までで、それ以上は、延長しないとの契約になっている。なら

武雄温泉新館

東京駅を設計した、唐津市出身の辰野金吾博士の設計であり、佐賀銀行唐津支店だったレンガ作りの建物も辰野氏の設計のような紹介がされるが、厳密に言えば設計はしていないので、この新館と楼門のみしか県内にはない。

ご存じの通り、新館は荒廃し、市民には再興が望まれている。H九年度、県・市・温泉会社の三者で数回話し合いがされている。改築費、約五億円の内、約一億三千万円を捻出しなければならぬ。

①捻出額を何をして取りもどすか。
②改築後の観光客増の駐車場問題が解決できずに過ぎていくというので、やはり、一定の期限を切つて、何種類かの案の中から絞って行く必要があると思う。担当職員の判断の範囲には限界があるので市長が解決に乗り出す必要あり。



まず駐車場問題の解決が必要

保養村整備

保養村整備は、H九年度、
●森林公園といって、ポーター乗り場横の小山を長い廊下で上った所に展望所と広場が作られている。
●河畔公園といって、元ほうらい荘を解体して子供向けの広場整備。
●山岳遊歩道といって、かんぼ保養センターから、保養村の山の中を一周するコース整備し、施設面整備は終り、このH十年度。

■エントランス(入り口) 駐車場
■モニメント(記念碑) 作成。
■総合案内板の設置をもって保養村第二次整備計画の事業を終了するという事だ。第三次計画は市民と共にやると言うことだったが、財政問題で時期は未定。

元、ほうらい荘跡 河畔公園 遊ぶに必要

保育所・向陽園

市が行っている行革の中で、前半の目玉は、民間活力の導入から
①学校給食調理の民間委託、と
②市立保育所と杵島向陽園(養護老人ホーム)の民営化であった。

①については、H八武雄・御船小、H九武中、H十朝日・橘小が予定。

一方、②の方は、H八年に基本計画を策定するとなっていたが、H九年中は、計画作りが進まず、議会質問にも、検討中という答の連発で、批判されていたが、保育所の方に関しては、最近、行革本部(市長・部長・課長) 会議に提出されたと言ふ。

ついでに言及すれば、文化会館の管理運営についても、H八年に計画策定となっていたが、これもまだ、まったく出されていない。

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	H13 (2001)	H12 (2000)	H11 (1999)	H10 (1998)	武雄市		
			区画整理完了					鉄道高架完成			水道料50%値上げ?	西部広域水道水道接続市長選挙	マスタープラン4次がないので、この先は不確定	柏岳世界の花木園オープン4 公共下水道計画策定 東川登小校舎改築 図書館資料館オープン 第3次マスタープラン終了3	西川登農業集落排水完成 武内小学校改築竣工 市民病院問題結論? 宇宙科学館オープン 行政改革期間終了 し尿処理場完成	川登中大規模改造 林道柚木原線開設 ソフトボール場整備? 図書館工事着工 ペットボトル分別回収 県議会議員選挙	橋小学校改築竣工 イズミ夢タウン開店 アーティスティックデンス事業 7 10 3	4 4 4 4 3

体育協会の財政問題を調査する

今議会で、武雄市体育協会の問題が質問に上っていた。その主旨は、市教育委員会は、体協に対して、どういう立場にあるのか？の問いに、直接関係はなく助言する程度であるとの答。ここで体協の問題がでたのは、武雄町の市議や若木町体協役員に、一口三千円の市体協の賛助会費のお願いがあったからである。

武雄町の場合、市議に対して、来年からは、町民から集める体協費を百円上げる予定、今年度分が不足するので、今年に限り三千円の賛助金をお願いしたいとの申し出だった。その歳入不足の原因として、①基金の利息運用が低金利の為に減少したこと。②観梅ロードレースの参加者減少により参加料収入が減少したことを説明された。五年前、体協が財団法人化した時のことを知っている人たちは、①この先、負担を今後求めない意味をこめて、基金を三千二百七十七万円を市民から集めたこと。②財団法人は、収益事業がやれるのが利点であり、それを十分やっていない。何の為に法人化したのか？役員の努力不足では等々？

一方、市民の中には③体協の職員を雇いすぎているのでは？とか、④市が主催すべきスポーツ行事を、なぜ市民が負担しないといけないのか？など疑問も上っていたので、武雄市体協の実態や県内各市の体協の現状を調べて見た。

まず、武雄市体協の事業は、
 ①管理運営委託事業（自岩体育館グラウンドなどの管理・清掃・窓口業務）
 ②補助事業（市民体育大会、県民体育大会、市内一周駅伝など）
 ③独自の事業（グラウンドゴルフ大会、ミニバレー、市民ゴルフ）
 であり、①は市が、必要な費用

を全額、委託料で支出、体協職員三名もこの費用の中で雇用されているので、会費値上げと職員雇用とは直接関係がない。

②は、本来、市の生涯学習課のスポーツ係でやっても良いことを、補助金を出してやってもらっている様な形だが、収支を見ると、市民体育大会に、市から二十五万円補助を受けているが、三十八万円もかかり市内一周駅伝も、十万円補助を受けているが、二十九万円の支出を見込んでおり、本来市の事業に体協が追銭やって事業している状態。

③は、収益を見込む事業だが、最大の収入を上げていた観梅ロードレースは、以前、百八十万円の収入だったのが、最近参加者が減り、百十万円、経費が百三十万円赤字が見込まれており、グラウンドゴルフが二十万円ようやく利益を上げる状態である。

結論を急ぐと！
 基金運用は、利率〇・八五％で市役所運用より良いが、以前に比べれば百万円の減。観梅ロードも七十万円の減。

ただ県内調べた所、佐賀・鳥栖・伊万里・唐津の四市体協は、市民からの分担金・賛助金は集めず、市の事業として委託している。多分、有限・株式の会社のみ賛助会費を募る。武雄市と鹿島市は同じようなシステムで、市民からは、各町体協が集めた体協費（武雄町の場合一戸四百円）の中から七十

円を町分担保として市の体協に納入する形になっている。だから、市の体協より町の体協の方が市民の金は多く使われている。
 そこで、今回急に体協費問題になったのは、市体協が平成九年度に、歳入不足をおぎなう為に、目標額三百万円の内、百二十万円

を七町が分担して、多久市と同じ一口三千円の企業賛助会費を集めることとなった。しかし、町体協によっては、割当て分を、ちゃんと企業から集めた町、役員さんが会員になった町、町体協費の中から支出した町など対応が違って解りずらかった。ただ思うことは、本来、企業に広げようとする賛助会費を各戸に割り当てるなら、分担金の各戸七十円値上げと、どこが違うのか理解に苦しむ。

㊤ 武雄市議会行政視察先

(委員会)	視察地	視察目的
総務委員会	相生市・竹原市 出雲市・御調町	行財政改革 組織機構の見直し
産業経済委員会	大田市・諏訪市	農業集落排水事業 商業振興 観光行政
文教民生委員会	浦安市・小山市	総合福祉センター 図書館について
建設委員会	天童市・山形市	天童北部区画整理 区画整理組合事業
議会運営委員会	南国市・土佐市	議会運営状況
常襲水害地対策 特別委員会	東京・福岡	建設省陳情 九州地建陳情
地域医療調査 特別委員会	津山市	国立病院の委譲
高架・北部市街地 特別委員会	前橋市・栃木市	鉄道高架事業 区画整理事業

㊤ 来武された他市議会

県名	市名	泊	視察目的
長野	小諸市	×	保養村整備事業
福島	原町市	×	行財政改革
岩手	大船渡市	○	文化会館
北海道	網走市	○	農業集落排水事業
山口	徳山市	○	コミュニティセンター物産館
北海道	岩見沢市	×	工業団地の現状
宮崎	都城市	×	サテライト・競輪
茨城	取手市	○	川古の大楠公園整備
岐阜	瑞浪市	×	川古の大楠公園整備
群馬	渋川市	○	コミュニティセンター物産館・保養村
広島	竹原市	×	行財政改革
岡山	備前市	○	保養村整備事業
熊本	山鹿市	○	議会のテレビ放映
三重	名張市	○	災害情報システム
鹿児島	指宿市	○	議員定数
東京	あきる野市	○	保養村整備
大分	臼杵市	○	議員定数削減
大阪	松原市	○	御船が丘小学校
京都	長岡京市	×	水道事業

一般質問実績表

	9年計	9年計
松尾	2 ⑦	2 ⑥
吉原	2 ⑥	3 ⑪
重松	4 ⑫	2 ⑦
宮本	4 ⑫	2 ⑥
牟田	4 ⑫	1 ④
弘田	2 ⑥	0 ②
藤山	1 ⑤	0 ②
大宅	3 ⑧	4 ⑫
高木	4 ⑫	0 ①
吉川	0 ①	3 ③
早田	3 ⑤	0 ①
谷口	1 ④	4 ⑫

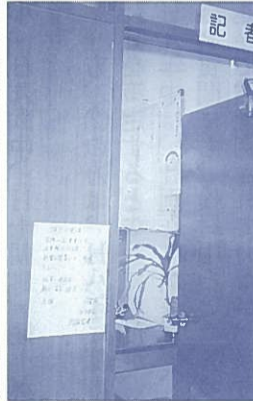
キャンペーン第1弾

平成10年度景気対策の特別減税があります

本人 8,000円
扶養者 4,000円を貯金せずに北部商店街や近くの商店で使いましょう！

市役所記者室前のはり紙

記者室前に、マジックで手書きの紙がはってある。何かと良く見たら、記者室に各社の新聞がある。で、気軽に入って読んで下さいとの文面。「行革の原点を見た。」



市四役の退職金の計算方法

市長、助役が、三月に退職されて、改めて知ったのが、市特別職特に市三役と教育長の退職金のシステムである。

それは、率まで条例に記してある。(左図参考) もちろん、議員には退職金はないが、そう思うと市四役には、その分まで頑張ってもらいたいと思うわけだ。また、この退職金は、前石井市長は、三期十二年されたのだが、一期ごとに支払われるようになっていた。一方助役は、二年で県に帰られたが、三月三十一日で退職されたので、一ヶ月少ない二十三ヶ月となっている。

ついでに言えば、古場前助役の県での退職金算定は二年間ストップしているという。また前助役は、県企画部の地域振興課、課長になられたので、武雄市のイベントや事業についても協力を得たいと思う。

急に身近になる土木事務所

古庄氏が市長になって、一人となった県議石丸氏、何か行動すべきと考えられたのか、我々市議と県の武雄土木事務所の所長・副所長が四月の人事異動で変えられたのを良い機会として、会合という顔を合わせた場を作ってもらった。

この武雄土木事務所というのは武雄の総合庁舎の二階左にあって直接市民との接触は少ないが、県の土木部の出先であり、温泉通りや宮野町通りの路面整備などがされている。この武雄土木が急に身近になるのは、平成十一年度より着工する予定の鉄道高架事業を直接担当されるからです。

今回、着任された大坪所長、田坂副所長(事務)、前田副所長(技術)みな、高架事業のスペシャリストを県が送り込んで来た状況です。

たまたま、私は、この大坪所長が県の都市計画課の技官だった六年ぐらいい前、井本知事と県JICの懇談会で、何回か鉄道高架について大坪氏から丁寧に教えてもらい好感をもっていた。

特に、人間味があり、今度も、「我々も、ぎりぎりの精一杯の所までやって、住民の人の協力を得たい」と聞いた。



左、大坪氏、右、田坂氏
 好意をもっていた。特に、人間味があり、今度も、「我々も、ぎりぎりの精一杯の所までやって、住民の人の協力を得たい」と聞いた。

編集後期と今後のプラン

古庄市長とは、もう何回も飲んで話したが、まだ実体は私に解らない。ただ酒が強いことと、カラオケはイルカのなごり雪を良く歌われる事はキャッチ。ただ、正直であるのは確かだ。だから、石井前市長の時のような、チェック機能より、提案・実行管理を中心に議員活動をせねばと思う。